
 学 会 記 事

 第 11 回日本東洋医学会
 関東甲信越支部新潟県部会

日 時 平成 14 年 9 月 8 日 (日)
 午前 10 時～午後 4 時 10 分
 会 場 新潟市万代市民会館
 6 階多目的ホール

I. 一 般 講 演

1 茯苓飲合半夏厚朴湯の効いた一見疾患の違う
二症例

関原 芳夫

長岡赤十字病院脳神経外科

【緒言】西洋医学的には異なる症例に同じ処方
 で効果のあった 2 症例を経験したので報告する。

〔症例 1〕53 歳, 女性. 平成 13 年 3 月, 椎骨動脈
 解離性動脈瘤にてコイル塞栓術を行い一命をくい
 止めた. しかし術後, 様々のストレスから頭重,
 不眠, めまい, 食欲低下, 易疲労感, 動悸などが続
 いた. 抗不安薬, 抗鬱薬, 眠剤などを投与するも
 効果なし. 舌診, 腹診などを参考に茯苓飲合半夏
 厚朴湯を投与したところ, 胃症状の消失と共に訴
 えも著明に軽減した.

〔症例 2〕74 歳, 男性. 平成 13 年 12 月下旬より
 頭重感, 嘔気, ふらつきが出現. 神経学的には複
 視, 小脳失調が軽度認められ, 椎骨脳底動脈循環
 不全と考えられた. 輸液と共に抗血小板剤を投与
 したが, ふらつきが取れない. 腹部症状の訴えか
 らヒントを得, 舌証, 腹証を参考に茯苓飲合半夏
 厚朴湯を投与した. 再来時には全ての症状が消失
 した.

2 乳児期アトピー性皮膚炎に対する黄耆建中湯
の使用経験

橋本 謹也

こども医院はしもと

【緒言】最近食物アレルギーを基にもつ乳児期
 アトピー性皮膚炎を経験することが多い. 今回,
 私は消化器機能を立て直すとされる小建中湯に,
 皮膚の水滞の正常化と排膿作用があるとされる黄
 耆が加わった黄耆建中湯を使い, 湿潤な湿疹が主
 体で食物アレルギーの関与することが多い乳児期
 アトピー性皮膚炎への投与効果を検討した.

【対象】平成 13 年 1 月より平成 14 年 6 月まで
 に当院を受診し, 黄耆建中湯を処方した 28 例
 (男児 17 名, 女児 11 名) について検討した.

【結果】投与した 28 例中, 効果あり 18 例, 効果
 なし 4 例, 悪化 2 例, 判定不能 4 例であった. 効
 果あり 18 例中 8 例はステロイド軟膏を使用しな
 いで改善し, 使用例も割りと少量の使用で改善し
 た. 又, 皮疹の改善は湿潤やびらん面により顕著
 のように思えた.

【考察】黄耆建中湯は乳児期アトピー性皮膚炎
 に有用な処方と考えられた. (悪化入院例もあり
 含めて報告する.)

3 鍼通電治療, 漢方薬の併用で改善をみた肩凝
り, 円形脱毛症の一例

高畑與四夫

たかはた医院

症例は 40 歳, 女性. 身長 165.5cm, 体重
 103.7Kg (+72.2%)

【主訴】両肩凝り, 後頭痛, (脱毛症)

【現病歴】15 年前 (25 歳) より肩凝り, 頭痛を
 自覚していたが時々マッサージを受ける程度あっ
 た. 脱毛はこの頃より始まり皮膚科を何度か受診
 し治療を受けたが, 効果はみられずあきらめ治療
 は受けなくなる.

この頃より体重増加となり, 最高 120Kg にな
 った. 平成 12 年 10 月出産した. 子供を背負うも
 10 分もすると肩凝りが悪化して, 姉の勧めで当院
 を受診した.